

## ホームステイ派遣事業の成果

長崎県立大村高等学校 2年

たわらぎか じん  
俵坂 仁

私はポルトガルでホームステイを行ったことで得るもの・感じるものが多くありました。それらを大きく分けると3つあります。

1つ目はこの派遣事業の一番の目的と考えられる、英語によるコミュニケーションについてです。私はこのホームステイに行くまでは、英会話はそこまで得意ではありませんでした。事前講習会のとき、私は全然喋ることができませんでした。自分の言ったことの意味がちゃんと伝わるだろうか。相手の言ったことをちゃんと聞き取れるか。といったような不安が浮かび上がってきました。でも、実際はいろんな人達が私に対して、親切に接してくれました。

だから、私もわからないことがあれば、気軽に「もう一回言って」とか「この言葉ってどういう意味？」と聞くことができました。このことが私自身の英語力の向上につながったと感ずることができました。会話の内容についても、日が経つにつれて話が深くなったり、展開が広がったり、難易度が上がったりするようになって、私は英会話をすることに楽しさを感じるようになりました。私のホストファミリーはみんなサッカーが好きだったので、サッカーの話をしたり、日本の文化についての話したりしました。これらのことは私にとってとても良い経験になったと思います。だから、私はこの経験をこれからの自分の人生にどう使うか、どう活かすかを真剣に考えていきたいと思っています。

2つ目はポルトガルの歴史についてです。私は歴史が好きなので、ポルトガルの歴史にとっても興味がありました。また、今回行ったところは大体が世界遺産でした。8月6日に標高約450メートルあるムーアの城壁、色鮮やかなペーナ宮殿や自然あふれるシャレーに行きました。ムーアの城壁は8世紀から9世紀にムーア人が敵からの攻撃を見るために作られたものであると聞きました。

8月7日は15世紀から16世紀に作られたシントラ宮殿、優雅なモンセラテの宮殿とケルス宮殿に行きました。シントラ宮殿にはアズレージョという色彩タイルの装飾があり、とてもきれいでした。8月8日にはレガレイラ宮殿に行きました。8月9日にはジェロニモス修道院に行きました。また、この日は長崎に原爆が落とされた日でもあったので、このことをホストファミリーに話しました。しかし、このことを知りませんでした。さらに、この日は長崎の学生は学校に行って平和学習をするということを言ったらとてもびつくりされました。



これも国の違いによるものなのかなと思いました。

また、その国の歴史はその国に行ったり、その国の人に教えてもらわない限り知ることはないのだと思いました。だから、私は長崎に原爆が落とされたという出来事を世界中の人に伝えたいし、知ってほしいと思うようになりました。そして、私も平和に対する気持ちや思いがより一層強くなりました。

3つ目は日本とポルトガルのさまざまな文化の違いについてです。私は韓国に行ったことがありますが、本当に小さい時に行ったので、日本との文化の違いどころか何も覚えてないので、ほとんど初海外的な感じでした。文化ではないのですが、まず右側通行という時点でびっくりしました。また、私は車酔いしてしまいました。でも、私は正直時差の感覚がいまいちわかりませんでした。文化の話に戻ると、違いを感じたのは食事のことについてです。

私はサッカー部なので、食事に関してはよくお米を食べていたのですが、ポルトガルではお米を食べる文化がなくて、食べるとしても時々でした。また、お米は日本のようにもちもちしたものではなく、

パサパサしたインディカ米で、食べても違いを感じました。お米は基本メインではないので、肉か魚を食べる日が多かったです。特に魚料理には郷土料理的なものが多くありました。そのなかでも、白身魚とじゃがいもを使ったバカリヤウという料理はとても美味しかったです。またこの料理にはソースが何種類もあって、それぞれの家庭やレストランによって味が違うので、とても面白い料理だと思いました。また、ポルトガルには有名な魚缶の店があり、とてもおしゃれでした。その店には日本語表記のガイドがあったのですが、謎な日本語がいっぱい書いてあって面白かったです。



冒頭で話したように私のホストファミリーはサッカーがとても大好きです。それはポルトガルではサッカーが一番メジャーなスポーツだからです。ちなみに私のホストファミリーは昨シーズン優勝したSLベンフィカというチームのファンです。だから、わたしはSLベンフィカのホームスタジアムであるエスタディオ・ダ・ルスに連れて行ってもらいました。このスタジアムは長崎にあるトランスコスモススタジアムの約三倍の収容人数 65000 人が入る世界の中でも物凄く大きなスタジアムです。といったように、日本では感じられないことが数多くありました。このような経験ができたのは、このホームステイの



参加を許してくれた保護者、大村市のおかげです。そして私に対して優しく接してくれたガブリエルやホストファミリーには、とても感謝しています。この経験を、これからの自分の人生に役立てていけるようにしていきたいです。